



社内研修・社員教育の取り組み②

竹伐採活動 in NTT西日本グループみどりいっぱい環境担当者研修会を実施



2015年6月4日、香川の「NTT西日本みどりいっぱい塩江の森」で竹伐採活動を行いました。竹林は管理せず放置すると高く成長した竹が、その他の木々に必要な日光を遮ってしまい、竹のみが生育する林となってしまいます。その結果、森に棲むいきもの多様性を損なってしまうことがあります。

ここ香川の「NTT西日本みどりいっぱい塩江の森」では、2014年より、竹林を伐採してヤマザクラを植えることで、生物多様性を有する自然な森を再生する活動を実施しています。

今回は、NTT西日本グループみどりいっぱい環境担当者研修会に参加した石川から沖縄までの環境担当者58名で、2014年にヤマザクラを植えた場所に早くも生えてきた竹を伐採する活動を行いました。

参加者は、森の斜面に散らばり、森林組合様の指導のもと、背丈の2倍ぐらいに成長した若竹を鎌で伐採していきました。初めはなかなかうまく伐採できなかった参加者も、指導された通りに少し斜め上から鎌を入れることで、手際よく伐採することができ、周りの若竹はみるみるうちに切り倒されていきました。

その後、20m以上もある竹をノコギリで伐採する体験も行いました。この森では、定期的に竹を伐採しなければ元の状態に戻ってしまうため、いきもの豊かな森にしていくためには、このような活動の継続が重要だと強く認識させられる一日となりました。



竹伐採活動 in みどりいっぱい環境担当者研修会に関する詳しい情報は

<http://www.ntt-west.co.jp/kankyo/create/line127/>